

富山市地域水田フル活用ビジョン

富山市農業再生協議会

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域の水田利用は、主食用米が 64%（H26）を占めている。その一方で、担い手を中心に大麦、大豆、そば、飼料作物などの作付けを進めることにより、不作付地を 8.9%（H26）に留め水田のフル活用に努めている。また、生産性向上を図るため、担い手による団地化や土地利用集積等を推進しており、大麦、大豆、そば、飼料作物の団地化・土地利用集積の取組は 73.0%（H26）となっている。

しかし、今後より一層、主食用米の需要の減少や農家の高齢化に伴う農家戸数の減少が見込まれ、不作付地の拡大も懸念されることから、転作作物の作付けを促進するとともに、担い手による団地化や土地利用集積等により生産性の向上を図り、水田のフル活用を進める必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

富山市の約 1.2 万 ha の水田について、適地適作を基本とし、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

「ほおぼる幸せ。富山米」をスローガンとして、売れる米づくりの徹底によって米の主産地としての地位を確保するため、「高温に打ち勝つ米づくり」、「低コストな米づくり」、「安全・安心な米づくり」、「良質な種子の生産」に向けた総合的な技術対策をしっかりと進めるとともに、前年の需要動向や集荷業者の意向を勘案しつつ、需要に即した米の生産を行う。

また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進などにより販路拡大を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

産地交付金の活用により多収品種の導入等を推進し、低コスト化に努め、収益性を確保しながら需要に応じた取組拡大を図る。

イ 米粉用米

水田フル活用に向け米粉用米の取組を推進し、多収品種の導入等による低コスト化に努めるとともに、地元需要者の需要に即した生産を行う。

ウ 新市場開拓用米

水田フル活用に向け海外需要などの新市場開拓用米の取組を推進する。

エ WCS 用稲

水田フル活用に向け WCS 用稲の取組を推進し、低コスト化や二毛作に努めるとともに、地元需要者の需要に即した生産を行う。また、管内畜産農家との耕畜連携の取組を推進する。

オ 加工用米

産地交付金の活用により、地元実需者等との結びつきを強化し、生産の維持・拡大を図る。

カ 備蓄米

備蓄米の取組を推進し、水田フル活用を図る。

(3) 麦、大豆、飼料作物

産地交付金の活用により担い手による土地集積を進め、団地化及びブロックローテーションを継続することにより、団地としての排水効果の発揮など生産性向上に努め作付面積を拡大する。

また、麦、大豆については、さらなる生産性向上に向け麦あと大豆作を進め、大豆と地力増進作物や堆肥を組み合わせた作付け、収量向上技術の導入により収量・品質の向上を目指すとともに、良質な種子の生産を行う。

小麦については、地元の食品メーカーや製粉会社からニーズがあることから、パン生地用等の小麦の栽培について検討する。

飼料作物については、生産性向上に向け二毛作を進めるとともに、管内畜産農家との耕畜連携の取組を推進する。

(4) そば、なたね

地元の製粉業者との連携や直売活動など地域の実需者との契約に基づき、現行の作付面積を維持する。また、産地交付金の活用により、団地化や担い手への集積とともに二毛作を推進し、更に収量向上技術の導入により、生産性の向上に努める。

(5) 高収益作物（野菜等）

産地交付金の活用により、以下の推進品目を中心に導入を推進し、担い手等の経営安定化が図られるよう誘導する。

- ① 1億円産地づくりを目指す特定品目の作付けを拡大する。

JA 富山市...ばれいしょ

JA なのはな...キャベツ

JA あおば...にんじん

JA 山田村...リンゴ

- ② 「白ねぎ」、「軟弱野菜」、「大カブ」、「トマト」、「切花」、「えごま」、「キャベツ」を振興品目として拡大する。
- ③ 薬用作物の需要に合わせ、作付けを拡大する。
- ④ 麦を作付けしたあとの耕地を有効活用する。

(6) みつ源れんげ

地域の養蜂農家との連携への取組を推進する。

3 作物ごとの作付予定面積

別紙のとおり

4 課題解決に向けた取組及び目標

別紙のとおり

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

3 作物ごとの作付予定面積

単位:ha

作物	平成29年度の 作付面積 (うち二毛作)	平成30年度の 作付予定面積 (うち二毛作)	平成32年度の 目標作付面積 (うち二毛作)
主食用米	7,142.3	7,242.0	7,242.0
飼料用米	202.8	228.7	230.0
米粉用米	3.5	3.5	3.5
新市場開拓用米	1.0	6.0	7.0
WCS用稲	124.5 (0.1)	140.5 (0.1)	144.0 (0.1)
加工用米	401.1	328.7	410.0
備蓄米	481.4	507.2	510.0
麦	383.4 (193.3)	382.3 (175.1)	384.0 (176.0)
大豆	778.8 (8.6)	758.3 (9.0)	786.7 (13.0)
飼料作物	112.8 (30.3)	107.7 (32.0)	114.0 (35.0)
そば	135.4 (41.3)	103.1 (5.5)	144.0 (44.0)
なたね	3.6 (2.3)	2.3 (2.3)	6.0 (3.0)
その他地域振興作物	255.2 (5.0)	241.1 (6.3)	318.4 (9.0)
野菜	157.1 (5.0)	149.1 (6.3)	211.5 (9.0)
花き・花木	24.2	25.6	30.9
果樹	3.0	3.9	6.0
雑穀	13.5	14.3	17.0
薬用作物	1.7	2.0	3.0
みつ源れんげ	55.7	46.2	50.0

(別紙)

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	用途名	目標	現状値		目標値	
				年度		年度	
1	(基幹作)麦・大豆・飼料作物・そば・なたね	担い手戦略作物等集積団地化加算	定着率(%) (当用途対象面積(ha)/基幹作付面積(ha)) ・麦 ・大豆 ・飼料作物 ・そば ・なたね	29	98.0(186.3/190.1) 90.5(697.0/770.2) 96.2(79.3/82.5) 93.8(88.3/94.1) 0.0(0.0/1.3)	32	99.0(205.9/208.0) 99.0(766.0/773.7) 99.0(78.2/79.0) 99.0(99.0/100.0) 100.0(3.0/3.0)
2	(二毛作)麦・大豆・飼料作物・WCS用稲	麦・大豆・飼料作物・WCS用稲二毛作助成	定着率(%) (二毛作対象面積(ha)/基幹作付面積(ha))	29	21.9 (275.9/1262.7)	32	20.7 (271.1/1307.6)
3	(二毛作)そば・なたね	そば・なたね二毛作助成	定着率(%) (二毛作対象面積(ha)/基幹作付面積(ha))	29	21.9 (275.9/1262.7)	32	20.7 (271.1/1307.6)
4	(二毛作)戦略作物の二毛作の麦・大豆	戦略作物高度利用加算 麦大豆加算(二毛作)	定着率(%) (麦+大豆の組合せの二毛作付面積(ha)/麦・大豆の基幹作付面積(ha))	29	17.3 (166.5/960.3)	32	17.0 (166.9/981.7)
5	(基幹作)大豆	戦略作物高度利用加算 地力加算	定着率(%) (当用途対象面積(ha)/担い手戦略作物等集積団地化加算対象面積(ha))	29	10.6 (74.1/697.0)	32	11.6 (89.0/766.0)
6	(基幹作)麦	麦収量向上技術加算	平均単収(単位:kg/10a) (対象面積(ha)) ・六条大麦 ・小麦	29	248(123.0) 185(2.6)	32	312(161.0) 209(1.8)
7	(基幹作)大豆	大豆収量向上技術加算	平均単収(単位:kg/10a) (対象面積(ha)) ・大豆	29	150(541.0)	32	159(605.0)
8	(基幹作)そば	そば収量向上技術加算	平均単収(単位:kg/10a) (対象面積(ha)) ・そば	29	18(68.7)	32	40(57.0)
9	(基幹作)加工用米	加工用米加算	対象面積(ha)	29	401	32	410
10	(基幹作)WCS用稲・飼料作物	耕畜連携助成	定着率(%) (対象面積(ha)/作付面積(ha))	29	30.2 (62.4/206.9)	32	28.9 (64.5/222.9)
11	(基幹作)出荷野菜・出荷花き花木・出荷果樹・出荷雑穀・出荷薬用作物	出荷作物基本助成	対象面積(ha)	29	174.1	32	242.1
12	(基幹作)1億円産地づくり出荷作物(出荷野菜・出荷果樹)	1億円産地づくり助成	対象面積(ha)	29	12.6	32	17.3
13・14	(基幹作)特産作物(出荷野菜・出荷花き花木・出荷果樹・出荷雑穀・出荷薬用作物)	特産作物加算	対象面積(ha)	29	130.3	32	181.5
15	(二毛作)麦あと指定野菜産地づくり出荷作物	麦あと指定野菜産地づくり特産加算	対象面積(ha)	29	5	32	9
16-1 ・16-2	(基幹作)特産作物、1億円産地づくり出荷作物 (二毛作)麦あと指定野菜産地づくり出荷作物	担い手特産作物集積団地化加算	対象面積(ha) ・基幹作 ・二毛作	29	85.1 4.1	32	118.2 7.0
17	(基幹作)みつ源れんげ	みつ源れんげ助成	対象面積(ha)	29	55.7	32	50
18	(基幹作)飼料用米・米粉用米	飼料用米・米粉用米多収品種加算	対象面積(ha)	29	129.2	32	135
19	(基幹作)そば・なたね	そば・なたね基本助成	対象面積(ha)	29	95.4	32	103
20	(基幹作)新市場開拓用米	新市場開拓用米助成	対象面積(ha)	29	1	32	7

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。